

2014年5月21日 全6頁

Indicators Update

4月貿易統計

輸出数量は2ヶ月ぶりの増加、駆け込みの影響剥落で輸入は急減

経済分析室
エコノミスト 齋藤勉

[要約]

- 2014年4月の貿易統計によると、輸出金額が前年比+5.1%と14ヶ月連続の増加となり、市場コンセンサス(同+4.8%)をわずかながら上回った。輸出価格は前年比+3.0%と、上昇幅が前月(同+4.4%)から縮小するなかで、輸出数量が同+2.0%と2ヶ月ぶりに前年を上回った点はポジティブに評価できる。輸出金額を季節調整値で見ても、前月比+0.6%と2ヶ月ぶりの増加となった。
- 輸出数量指数を季節調整値で見ると(季節調整は大和総研による)、前月比+1.6%と2ヶ月ぶりの上昇となった。米国向け(同+2.4%)、EU向け(同+3.7%)、アジア向け(同+0.1%)がそれぞれ増加しており、4月の輸出は堅調に増加したと評価してよいだろう。
- 先行きに関しては、輸出数量の持ち直し傾向が徐々に鮮明となる見込みである。4月の数値でも確認できたように、3月までの国内出荷優先によるボトルネックは解消され、今後は海外の需要回復に合わせて輸出数量も持ち直していくだろう。
- 4月の輸入金額は、前年比+3.4%と18ヶ月連続で前年を上回ったが、上昇幅は前月(同+18.1%)から大きく縮小した。輸入価格は同+4.7%と上昇が続くものの、輸入数量が前年比▲1.3%と前年を下回ったことが、上昇幅縮小の主因。貿易収支は▲8,089億円と、22ヶ月連続の赤字となった。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2013年					2014年			
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
輸出金額	14.6	11.4	18.6	18.4	15.3	9.5	9.8	1.8	5.1
コンセンサス									4.8
DIR予想									3.9
輸入金額	16.2	16.7	26.3	21.2	24.8	25.1	9.0	18.1	3.4
輸出数量	1.9	▲1.8	4.4	6.2	2.5	▲0.2	5.4	▲2.5	2.0
価格	12.5	13.5	13.6	11.5	12.4	9.7	4.2	4.4	3.0
輸入数量	▲1.9	▲2.1	6.4	3.4	4.7	8.0	▲0.5	11.6	▲1.3
価格	18.4	19.2	18.7	17.2	19.1	15.9	9.6	5.9	4.7
貿易収支	▲9,714	▲9,432	▲11,004	▲13,011	▲13,072	▲27,950	▲8,047	▲14,460	▲8,089

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出数量は2ヶ月ぶりに増加

2014年4月の貿易統計によると、輸出金額が前年比+5.1%と14ヶ月連続の増加となり、市場コンセンサス（同+4.8%）をわずかながら上回った。輸出価格は前年比+3.0%と、上昇幅が前月（同+4.4%）から縮小するなかで、輸出数量が同+2.0%と2ヶ月ぶりに前年を上回った点はポジティブに評価できる。輸出金額を季節調整値で見ても、前月比+0.6%と2ヶ月ぶりの増加となった。

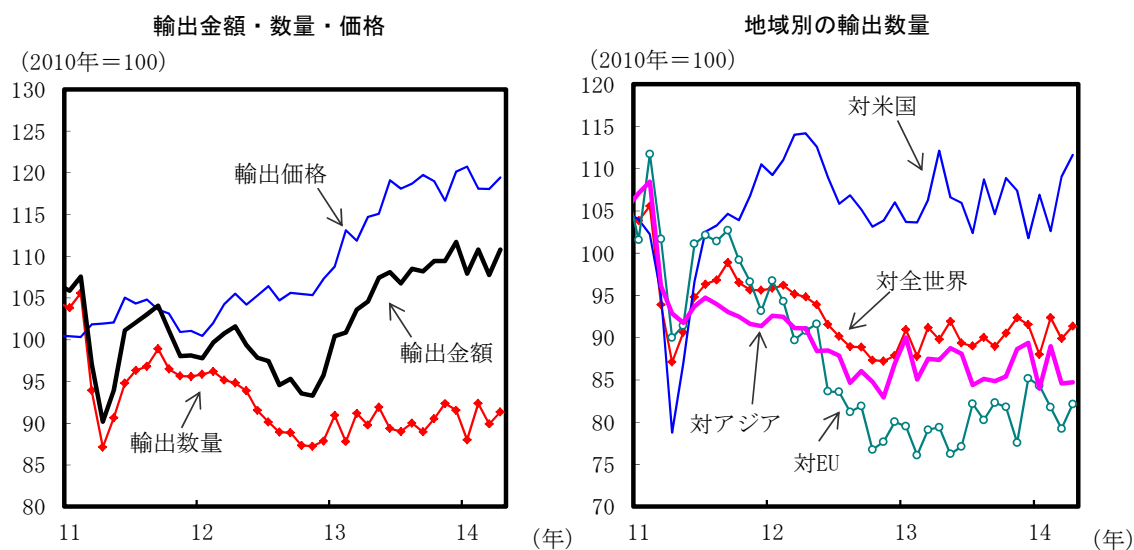
輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比+1.6%と2ヶ月ぶりの上昇となった。米国向け（同+2.4%）、EU向け（同+3.7%）、アジア向け（同+0.1%）がそれぞれ増加しており、4月の輸出は堅調に増加したと評価してよいだろう。

米国向けでは、「自動車」や「自動車の部分品」などの輸送用機器の増加が全体を牽引した。3月まで国内向け出荷を優先していた自動車メーカーが輸出を増やし始めたと考えてよいだろう。アジア向けでも、中国やアジアNIEs向けに輸送用機器の輸出に増加が見られる。EU向けでは、一般機械や電気機器などの増加が全体を押し上げた模様。

輸入数量は駆け込みの影響剥落で前年比マイナスに

4月の輸入金額は、前年比+3.4%と18ヶ月連続で前年を上回ったが、上昇幅は前月（同+18.1%）から大きく縮小した。輸入価格は同+4.7%と上昇が続くものの、輸入数量が前年比▲1.3%と前年を下回ったことが、上昇幅縮小の主因。3月までは、消費税率引き上げ前の駆け込み需要や、石油石炭税率引き上げに備えた輸入の増加が見られていたが、4月にはその影響が剥落したことが背景にある。貿易収支は▲8,089億円と、22ヶ月連続の赤字となった。

図表2：輸出金額・数量・価格と地域別輸出数量の推移（季節調整値）



海外の需要回復に合わせて輸出数量も持ち直し傾向を強める公算

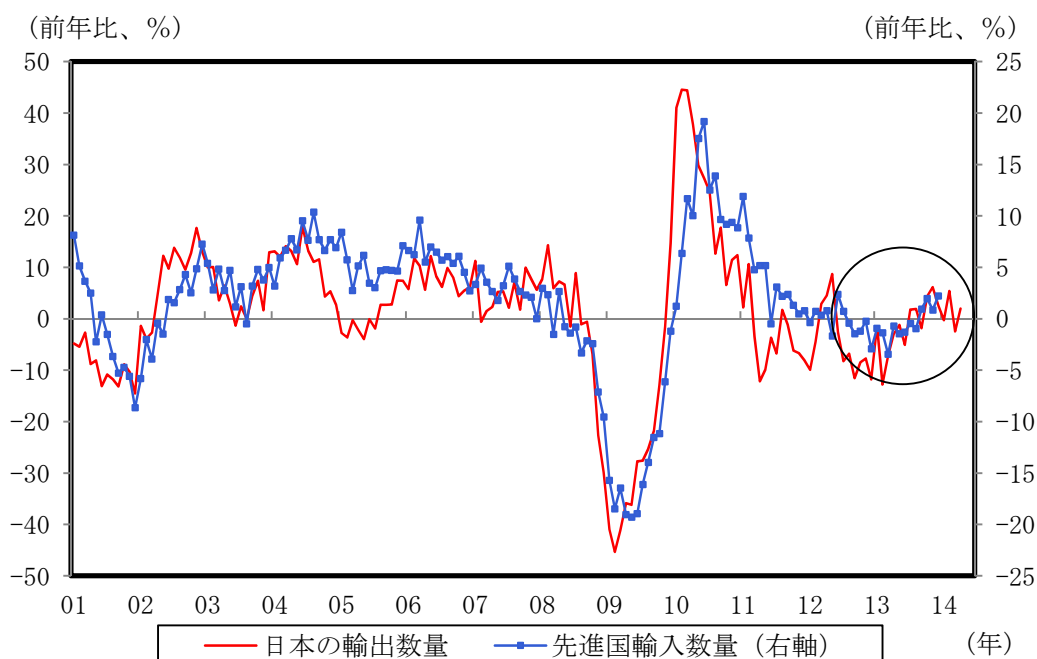
先行きに関しては、輸出数量の持ち直し傾向が徐々に鮮明となる見込みである。4月の数値でも確認できたように、3月までの国内出荷優先によるボトルネックは解消された模様である。また、これまで低迷していた先進国の輸入数量も増加に転じており、海外経済の成長鈍化という輸出伸び悩み要因も解消されつつあることがわかる（**図表3**）。国内外の輸出阻害要因が解消されたため、今後は海外の需要回復に合わせて輸出数量も持ち直していこう。

輸出相手別に景気動向を見ると、米国では、堅調な個人消費を背景に景気拡大が続いている。設備投資を中心とする企業部門の回復が本格化すれば、さらに日本からの輸入も増加するとみられる。欧州に関しても、緩やかながら景気は回復傾向を強めている。今後も景気拡大が続くと見込まれることから、EU 向けの輸出も増加基調に復する公算が大きい。欧米経済の回復に牽引され、アジア新興国経済も改善ペースを強めていこう。中国経済の減速による下押し圧力はあるものの、アジア向けに関しても、輸出は徐々に増勢を強めるとみている。

貿易収支赤字幅は徐々に縮小する見込み

貿易収支の先行きについては、貿易収支は赤字傾向での推移が続く見込みである。ただし、①輸出数量は持ち直していくとみていること、②駆け込み需要等の特殊要因の剥落により、輸入の増加ペースが緩慢になる公算が大きいことから、貿易収支の赤字幅は徐々に縮小する見通しである。

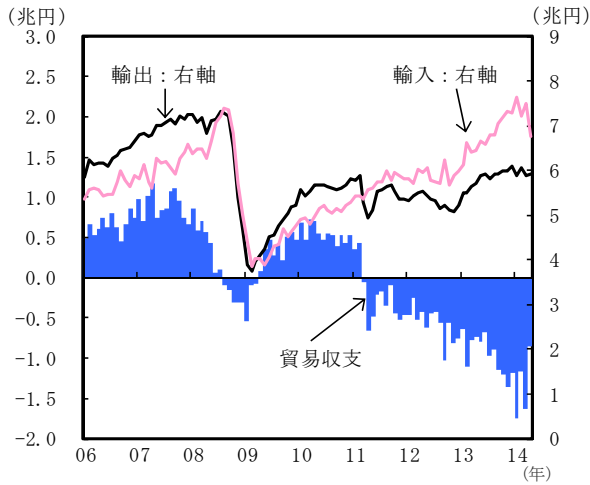
図表3：先進国の輸入数量と日本の輸出数量



(出所) オランダ経済分析局、財務省統計より大和総研作成

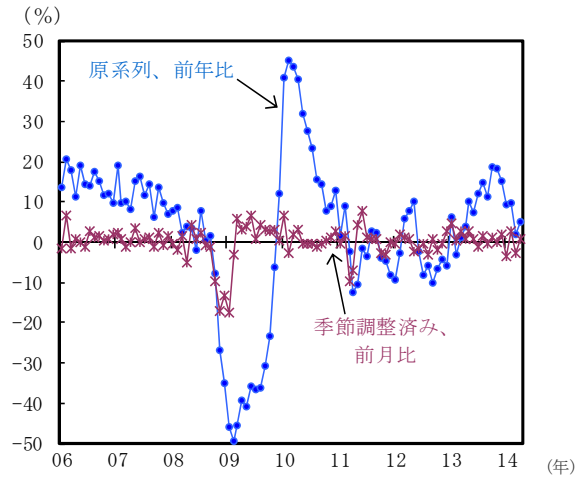
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

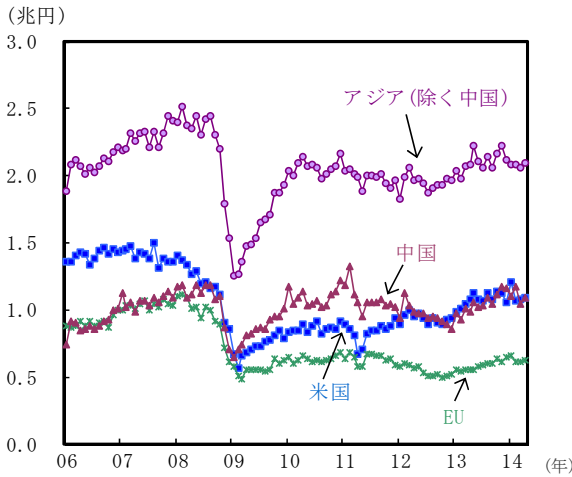


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

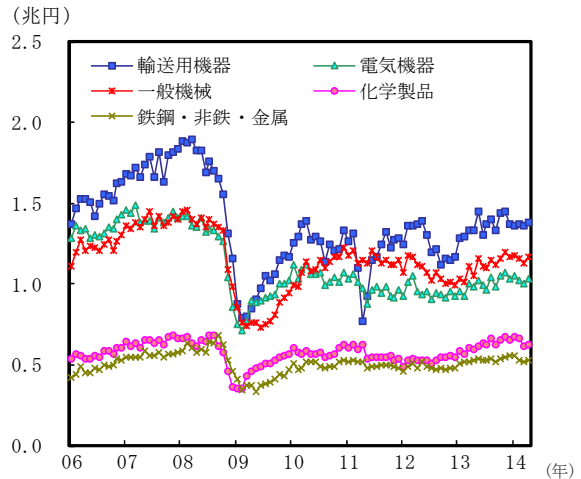


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

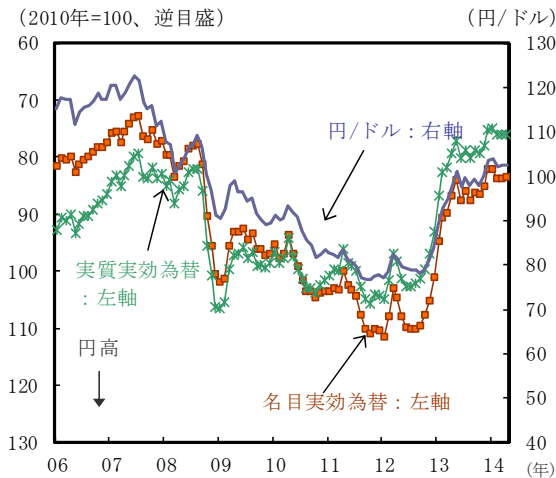


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

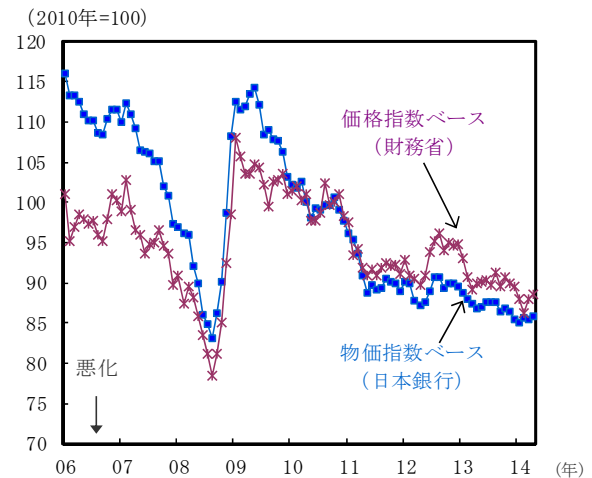


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2013/11	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	18.4	15.3	9.5	9.8	1.8	5.1	100.0	5.1
食料品	24.1	26.8	10.9	20.6	8.5	12.2	0.7	0.1
原料品	7.0	▲0.7	▲4.5	▲8.1	▲17.0	▲10.2	1.7	▲0.2
鉱物性燃料	77.5	39.0	54.3	75.9	31.2	13.7	2.5	0.3
化学製品	21.2	19.9	14.5	16.3	1.5	3.8	10.9	0.4
原料別製品	12.9	14.0	7.3	3.4	▲2.4	0.0	12.8	0.0
鉄鋼	15.4	19.4	14.5	4.2	5.4	▲4.0	5.0	▲0.2
非鉄金属	2.2	8.7	▲2.9	▲9.4	▲13.8	1.9	2.0	0.0
金属製品	18.8	12.3	8.7	11.7	▲1.9	12.8	1.8	0.2
一般機械	18.5	17.3	13.6	14.1	2.3	10.8	19.7	2.0
電気機器	11.9	10.9	10.2	10.7	0.4	5.3	17.2	0.9
半導体等電子部品	3.7	6.1	8.1	8.7	▲3.8	1.3	4.9	0.1
I C	2.7	3.9	5.8	8.0	▲6.1	▲2.1	3.3	▲0.1
映像記録・再生機器	0.1	15.0	▲14.5	7.7	▲9.2	▲3.6	0.7	▲0.0
音響・映像機器の部分品	7.5	▲0.1	0.2	▲8.6	▲3.2	▲18.3	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	10.7	8.7	13.8	9.5	▲4.0	7.5	2.6	0.2
輸送用機器	25.6	17.1	6.0	6.6	2.4	4.7	23.3	1.1
自動車	30.0	18.3	14.0	4.0	9.0	5.1	15.0	0.8
自動車の部分品	15.7	17.3	7.7	4.7	▲5.6	1.3	5.1	0.1
その他	12.4	11.7	2.8	4.1	5.4	4.1	11.4	0.5
科学光学機器	10.8	15.7	10.7	17.5	3.6	14.9	3.2	0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2013/11	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	21.2	13.0	21.8	5.6	3.6	1.9	100.0	1.9
食料品	16.9	14.1	33.7	14.1	18.5	28.4	0.5	0.1
原料品	▲16.1	▲39.5	34.9	28.3	▲12.4	1.5	0.5	0.0
鉱物性燃料	59.0	▲3.1	▲41.9	336.5	682.0	▲29.7	0.6	▲0.3
化学製品	13.4	15.5	30.8	4.1	13.2	▲6.0	5.8	▲0.4
原料別製品	17.2	9.9	17.5	8.9	1.4	▲1.8	6.9	▲0.1
鉄鋼	20.5	19.1	20.4	14.2	11.5	▲18.8	1.6	▲0.4
非鉄金属	48.6	40.8	29.0	15.6	10.5	22.7	0.5	0.1
金属製品	10.3	▲7.0	23.8	2.2	▲13.6	2.8	1.7	0.0
一般機械	17.3	9.9	17.4	6.8	0.2	6.0	22.9	1.3
電気機器	12.6	6.1	20.9	4.8	▲1.1	1.8	14.5	0.3
半導体等電子部品	0.1	▲0.0	15.4	0.7	▲3.9	3.3	1.8	0.1
I C	1.6	▲1.3	11.6	▲0.2	▲7.0	▲4.6	1.0	▲0.1
映像記録・再生機器	12.1	30.3	▲6.9	▲1.8	▲12.5	▲10.6	0.8	▲0.1
音響・映像機器の部分品	9.5	27.4	17.7	▲23.7	▲16.2	11.8	0.2	0.0
電気回路等の機器	10.7	3.8	25.9	12.7	▲7.1	▲3.6	1.6	▲0.1
輸送用機器	30.5	14.8	21.0	1.6	6.3	3.1	39.2	1.2
自動車	38.5	18.6	20.6	▲1.7	7.3	▲0.9	27.3	▲0.3
自動車の部分品	3.6	▲3.8	10.2	0.9	▲7.8	5.6	6.9	0.4
その他	13.6	32.5	35.8	14.4	4.4	▲2.1	9.2	▲0.2
科学光学機器	11.7	4.5	10.3	7.5	3.0	▲2.3	2.1	▲0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2013/11	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	19.5	23.1	20.3	13.9	10.2	12.7	100.0	12.7
食料品	25.9	43.7	36.1	28.7	27.7	26.2	0.3	0.1
原料品	24.7	14.6	36.5	▲1.0	▲8.2	▲25.6	1.0	▲0.4
鉱物性燃料	466.3	620.8	13.2	337.2	▲78.9	72.0	0.1	0.0
化学製品	30.7	22.5	17.4	11.5	8.1	10.1	9.3	1.0
原料別製品	13.6	5.3	15.1	8.9	2.7	12.1	7.7	0.9
鉄鋼	13.4	▲7.2	66.6	45.1	27.9	▲7.4	0.9	▲0.1
非鉄金属	▲28.2	▲31.0	▲45.5	9.4	▲29.8	14.8	0.8	0.1
金属製品	20.4	7.2	14.4	3.6	▲1.9	14.3	1.6	0.2
一般機械	22.8	32.8	24.5	15.1	10.0	11.9	27.4	3.3
電気機器	19.2	20.4	24.1	10.6	7.1	15.0	20.1	2.9
半導体等電子部品	29.2	20.8	25.7	13.7	20.4	33.6	3.0	0.8
I C	30.7	28.3	29.7	17.8	14.2	40.8	1.9	0.6
映像記録・再生機器	▲12.7	2.4	9.4	9.2	▲22.2	21.5	1.7	0.3
音響・映像機器の部分品	▲2.3	7.2	10.3	▲10.7	▲33.7	▲63.5	0.3	▲0.7
電気回路等の機器	30.2	21.5	30.0	26.0	7.6	25.8	2.1	0.5
輸送用機器	20.9	29.0	22.6	30.7	25.3	14.7	19.7	2.8
自動車	34.9	56.5	53.7	47.6	83.4	48.8	11.8	4.3
自動車の部分品	▲12.7	0.7	▲13.5	▲4.0	▲11.3	▲15.1	5.7	▲1.1
その他	8.3	11.4	7.2	0.2	11.2	14.2	14.4	2.0
科学光学機器	10.0	20.1	8.8	7.6	▲1.7	15.8	3.6	0.6

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2013/11	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	18.8	15.9	5.8	12.5	1.4	3.6	100.0	3.6
食料品	29.2	28.1	3.0	23.3	5.2	8.9	0.9	0.1
原料品	7.6	0.9	▲11.6	▲11.0	▲18.8	▲10.4	2.6	▲0.3
鉱物性燃料	58.6	39.6	50.9	73.7	48.3	10.7	3.0	0.3
化学製品	20.3	18.9	12.5	17.2	▲1.1	4.2	15.1	0.6
原料別製品	10.6	12.4	3.1	2.4	▲5.0	▲1.4	16.1	▲0.2
鉄鋼	11.8	14.0	9.1	1.6	2.7	▲4.1	7.0	▲0.3
非鉄金属	0.2	15.2	▲1.9	▲10.0	▲22.0	▲3.7	3.0	▲0.1
金属製品	21.7	18.5	3.9	16.4	2.7	11.1	1.9	0.2
一般機械	20.9	17.9	7.4	18.8	5.2	12.1	18.8	2.1
電気機器	11.7	10.9	4.3	12.3	0.3	4.9	21.0	1.0
半導体等電子部品	3.0	6.1	6.4	9.7	▲5.2	0.0	7.7	0.0
I C	1.7	3.3	4.2	8.4	▲7.1	▲3.8	5.3	▲0.2
映像記録・再生機器	8.4	19.9	▲25.2	15.2	▲2.1	▲8.8	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	16.1	2.3	5.8	9.5	21.3	▲5.1	0.6	0.0
電気回路等の機器	10.2	8.0	9.5	6.7	▲6.3	7.0	3.5	0.2
輸送用機器	46.5	38.4	7.0	17.6	0.5	▲4.6	9.1	▲0.5
自動車	55.0	39.9	10.6	27.7	14.6	11.1	4.4	0.5
自動車の部分品	36.2	32.5	4.4	▲1.4	▲9.9	▲5.3	3.9	▲0.2
その他	15.4	9.0	▲2.5	5.1	6.3	3.6	13.3	0.5
科学光学機器	14.5	19.7	11.8	24.5	6.4	17.2	4.1	0.6

中国向け輸出金額 内訳								
	2013/11	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	32.9	34.3	13.1	27.6	4.3	9.8	100.0	9.8
食料品	38.3	46.7	8.8	16.4	8.1	35.7	0.5	0.1
原料品	4.1	▲1.7	▲24.3	▲9.9	▲22.1	▲13.7	3.7	▲0.6
鉱物性燃料	55.5	21.8	40.8	▲40.3	▲3.7	34.9	1.5	0.4
化学製品	33.6	38.0	19.4	24.8	2.6	5.0	15.2	0.8
原料別製品	23.7	24.7	3.7	19.9	▲2.1	3.5	13.5	0.5
鉄鋼	46.3	55.7	37.6	32.1	27.2	0.4	4.7	0.0
非鉄金属	▲15.5	▲9.7	▲27.7	▲9.0	▲27.6	8.1	2.8	0.2
金属製品	51.4	49.6	14.9	47.1	3.5	14.7	1.9	0.3
一般機械	37.6	43.6	11.1	39.0	6.2	18.8	20.0	3.5
電気機器	20.6	19.8	10.6	20.3	2.8	11.5	22.1	2.5
半導体等電子部品	▲0.7	▲1.0	6.2	4.5	▲12.8	▲7.4	6.7	▲0.6
I C	▲4.6	▲9.4	1.6	▲2.6	▲19.1	▲14.8	4.3	▲0.8
映像記録・再生機器	27.6	34.3	▲38.9	25.6	1.9	▲23.3	0.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	34.6	13.7	9.8	10.5	53.0	9.0	1.0	0.1
電気回路等の機器	18.2	15.4	20.5	19.1	▲2.5	24.9	4.0	0.9
輸送用機器	150.1	120.1	54.7	60.3	24.4	13.1	10.9	1.4
自動車	241.6	162.8	115.7	138.2	61.2	26.0	5.1	1.1
自動車の部分品	109.1	95.9	26.2	18.0	1.3	3.1	5.5	0.2
その他	14.4	23.5	10.4	35.5	8.5	9.5	12.6	1.2
科学光学機器	20.9	22.6	18.6	40.2	10.3	20.3	6.3	1.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成